



<http://hatoh.net/>

波 濤

第 61 号

発行 放送大学神奈川同窓会
編集委員会
責任者 金田 保男
発行日 2021年7月27日
会員数 618名(2021年4月1日現在)

さあ、次の10年へ!!

会長 金田保男



神奈川同窓会節目の創立 30 周年を超え、皆様は体調の管理と未知の分野の学習に励まれていることと思います。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的感染拡大から約 1 年半が経過しました。

新規感染者数のグラフを見ると感染防止対策にも拘わらず一旦減少傾向はみられるものの、また次の山が聳えるという繰り返しです。始まったばかりのワクチンによる効果も未だ検証されていない段階で、ウイズコロナはなかなか厄介で今後数年続く可能性があると考えなければなりません。

【見過ごしてきたもの】

この半年間を振り返ってみると、総会案内資料の作成および『波濤』発送作業は役員総がかりで行いますが、作業場所の確保が困難になりつつあります。また作業参加可能者は徐々に少なくなってきました。時代に追われているある日、役員の高齢化など「見過ごしてきたもの」に気が付きます。いずれこの先数年の間に行き詰まることになりかねません。今から対策を考えておく必要に迫られています。また世の中一気に Zoom によるオンライン化に突き進んで参りました。以前何らかの授業で、「プログラミング言語が読めない人は、文字を読めない人になる時代が来るかもしれない」と言われたことを思い出します。その時は漠然とそうかも知れないと考えていましたが、小学校からオンライン授業が始まりその時期は待たなしに迫って来ました。

【見出すもの】

2020 年 3 月感染が拡大し始めた頃から感染症拡大防止対策により、学習センターの利用制限が始まり集合し会議を行うことが困難になりました。すぐ

さま、佐藤前会長の提唱により神奈川同窓会役員会は、Zoom による「Web 会議」の導入を目指しました。役員は数回の勉強会を行い、1～2 か月後には、役員のほとんどが習得し、面談は行えない迄も皆様とオンラインで顔を合わせて話すことが出来るありがたさを実感することができました。

ありがたいことに、有志の方数名が自ら進んで Zoom の勉強を行い「操作マニュアル等」整備して下さいました。次に役員ばかりでなく、会員の皆様と顔を合わせる機会を拡大してゆくため、高橋副会長の提唱で Zoom 版「弘明寺サロン」(「ミニサロン」と名付けられました) を立ち上げました。

会員の中には、初めての Zoom 操作という方もおられますので、事前説明会(「Zoom 教室」といいます)を何度か行い、放送大学の「オンライン授業」にも応用できる Zoom アプリをインストールすることから始めました。必要に応じ電話で操作方法を解説し、今ではかなりの方が参加出来るようになりました。人数が増えると、約束事など運営は複雑になりその対策も事前に見出す必要が次々に出て参りました。

【今後に向けて】

Zoom による「ミニサロン」の充実を図る上にも今後に向けた「高齢化による作業方法の見直し」にしても、その前提となる「ネット環境」等インフラの整備も同時に行わなければなりません。

コロナ禍により、今迄気が付かなかった「見過ごしてきたもの」「見出すもの」が少しずつ見えて参りました。ここでは主にネット環境やオンラインについて述べましたが、通常の「生活環境」においてもこの 2～3 年の間に急激に変化が起きると思われれます。早くコロナ禍が収束し、マスクを外しても大丈夫な状況になることを望んでいますが、全世界の影響も受けますので Long-run を覚悟せざるを得ません。さあ次の 10 年はどんな景色が広がるか! 楽しみです。

第32回通常総会（書面総会）

コロナ禍の影響から「第32回神奈川同窓会通常総会」は、昨年に引き続き書面総会での開催となりました。

総会資料は4月16日（木）にお送りし、葉書による書面総会表決書を5月10日（月）までに送付いただき、5月18日（火）に集計した結果は次のとおりでした。

1. 総会の成立要件

会則により会員数618名の5分の1=124名以上の書面表決書数で総会は成立します。そしてその過半数以上の賛成で議案は可決となります。

今回は359名の参加があり総会は成立しました。

2. 書面表決書の集計

日 時：5月18日（火）10時半～12時

場 所：神奈川学習センター

立合者：金田会長、高橋副会長、佐藤理事
飯塚理事

3. 議案の賛否

第1号議案 賛成 359 反対 0

第2号議案 賛成 359 反対 0

第3号議案 賛成 359 反対 0

第4号議案 賛成 358 反対 1

第5号議案 賛成 358 反対 1

4. 結果

以上のとおり各議案において、賛成が過半数を超えていますので全て承認されました。

総会報告会の実施

今回も書面総会となり会員が一堂に会しての総会を実施することができませんでした。

そこで会員同士の交流と理解を深めるために、Zoomによるオンライン会議形式による総会報告会を実施いたしました。

初めての試みでありましたが5月30日（日）10時からの報告会には29名の参加があり、有意義な報告会をおこなうことができました。来年度は神奈川学習センターで総会の開催ができることを祈念いたします。（飯塚武夫）

卒業生の言葉

卒業にあたり

坂田俊幸



放送大学への入学動機は、アルツハイマー型認知症の母親の介護の無限ループからの脱却とでもいいでしょうか、一日の中で一時間でも母の介護を忘れることができないかなあと思ったからです。母が家にいる時は、介護の為に外出できない状況でしたので、別のことに集中したいという思いが入学のきっかけです（入所手続きをしてから五年間の待機の後に、ようやく施設に入ることができました）。

卒業のことは全く頭にありませんでしたが、私の期待通りに、勉強している間は母の介護のことを忘れることができ、ツボにはまったのか夢中になり二回目も卒業することができました。

放送大学に入学して良かったことの一点目は、今年一月に、母親が入所している施設で紙オムツの取り扱いが原因で、腸炎を起こし病院に駆け込んだ時のこと。検査結果での面談で、カリユウムの錠剤の投与に関して「オン・オフ」の影響を尋ねたところ、「医療関係者の方ですか」と聞かれました。私も医療関係者と間違えられたことにビックリして「放送大学で勉強しています」と答えたところ医師いわく「ああ、なるほど、それならわかる」と言われ、「放送大学、結構やるじゃん！」と内心想ったことです。

二点目は、コロナ前のことですが、私が下肢静脈瘤手術で入院した時も、回診時に医師と「総合病院の危険性」について専門的な話ができたことです。医師は、放送大学には医療関係のことを学ぶ科目があることをご存じで、誇らしく思いました。

三点目は、国勢調査で「大学卒」の項目に○を付けることができたことです。

私なりに思うことは、放送大学の学びで身に付くことは、「リテラシー」ではないかと思えます。放送大学は、情報化社会と言われる今の世の中で、物事を一度フィルターにかける能力を自然と身に付けさせるような大学であると思えます。

同窓会の皆様とお会いする機会がありましたら、詳しく話せることを楽しみに終わります。

卒業生の言葉

卒業に寄せて

三條かおる



同窓生の皆様は何年位で卒業されたのでしょうか?私は「心理と教育」コースを卒業するまで6年かかりました。働きながら家事と勉強をしていたので、なかなか勉強の時間が取れず、結果として6年かかりました。

私が何よりも苦労したことは「勉強をする場所の確保」でした。家にいるとどうしても家事などに時間が奪われ、集中して勉強をする気持ちにはなれませんでした。仕事帰りに図書館に寄って勉強をしたこともありましたが、帰宅時間が21時近くになり、その分夕食が遅くなって、家族に負担を負わせる結果となりました。

試行錯誤の末行きついたのは、通勤時間中に勉強することでした。私の住まいは市営地下鉄の始発駅にあり、早目に駅に行けば必ず座れます。そして地下鉄には約40分乗っているのです、この間に印刷教材1章分は読むことができました。ほぼ毎朝、同じ車輛の同じ席に座って印刷教材を開き、手にはマーカーと鉛筆を持ってひたすら印刷教材に没頭する、それが私の基本的な勉強スタイルとなりました。

入学したばかりの頃は、良い勉強の仕方が確立出来ず、その結果、単位認定試験の成績もあまり自慢できるような成績ではありませんでした。ですが、自分自身にとって効率の良い勉強の仕方を見つけることができた後の単位認定試験では、満足のいく成績が取れるようになりました。

私は学習センターでも特に誰かと繋がろうとはせず、一人でコツコツと勉強をしてきました。面接授業でも、その日、その場限りの付き合いと割り切り、寂しいとか孤独など、感じることもありませんでした。「私はここに勉強をするために来ている、友達を作りに来ているのではない」、そんな声自身が内側にありました。けれど、もしかしたらどこかに寂しさや、誰かと繋がりたいという思いが潜んでいたのかもしれないと今は思います。

無事に卒業できた今、同窓生の一員として皆様のお仲間となれたことを嬉しく感じております。今後ともよろしく願いいたします。

名誉学生の言葉

素晴らしき白秋の時 - 放送大学での20年

石橋正彦



先人は人生を四季になぞらえ、青春、朱夏、白秋、玄冬としました。

私にとって青春は、幼い頃より野山に出て昆虫や蛇など生物に親しみ、大学は麻布獣医科大学に進み、また東北大学大学院で「家畜繁殖学」を専攻し、さらに在学中に伴侶とも巡り合った、という日々でした。

修士課程修了時に母校から戻るように言われ、麻布獣医科大学の助手になり、以後退職するまで、教育、研究、そして学生指導に良き日々を過ごしました。

偶然得られた野性ドブネズミ由来の有色のラットが先天性の椎骨形成不全、甲状腺腫、自然発症の虫歯、無毛症などの遺伝的異常を持っていたことから、学生諸君の卒論指導を兼ねて手伝って貰いながら「実験動物学」、とくに「疾患モデル動物」の研究と教育を進めることが出来ました。また取り組んでいた「多発性嚢胞腎 (PKD)」の研究のためのラットを見つけて、アメリカの Mayo Clinic に送り、共同研究を展開しました。研究に関して今思えば後悔することばかりでしたが、最後に Nature Genetics に投稿した論文に名を連ねることが出来たことで、以て瞑すべしと致します。

私の在職中で特記すべきは、むしろ学生達の就職活動のために奔走指導して多くの学生達に一生の仕事を提供出来たことであると思います。私の良き朱夏の時でした。

従妹や仲間達と立ち上げた PKD の患者団体で患者さん達の相談に乗る内に、「傾聴」について学ぶ必要を感じたことがきっかけで放送大学に入学してから20年、多くの事柄を学ぶことが出来、今回6つ目のコースを卒業して、名誉学生の仲間入りをさせて頂くこととなりました。

放送大学では、学びだけでなく同窓会活動、ゼミ、サークル活動などで沢山の友人が得られ、さらに特別講義や面接授業を担当する機会まで与えられました。放送大学で有意義に過ごした20年間は、私にとって本当に素晴らしい白秋の時でした。

そして、81歳になった今、これまでの恵まれた、幸せな人生に感謝しながら、残された玄冬の時をさらに有意義に過ごしたいと願っています。

卒業・修了生ショートメッセージ

◆横浜市 信岡ありさ：この春大学院を修了しました。途中在籍していない時期も聴講し、学部時代から約22年お世話になった放送大学とのご縁が切れることを寂しく思っていたところ、同窓会加入で学習センターを引き続き利用できること知り嬉しい限りです。よろしくお願ひいたします。

◆横浜市 根本房光：K-サポート、学生サークルがとても充実していて、各種イベントや懇親会も参加させていただきました。あっという間に4年時間が過ぎ、少し物足りないので大学院まで進み、併せて継続入学することにしました。皆様には大変お世話になり有難うございました。

◆横浜市 野口由起子：59歳で放送大学へ入学し心理学を学びました。そして63歳で第3回公認心理師試験を受験し、2度目の挑戦で合格しました！記憶する力が衰える中、繰り返し勉強することでチャンスをつかむことができました。

◆横須賀市 綿貫弘子：長い年月をかけてやっと卒業できました。周囲の皆様の励ましと協力のおかげと心より感謝しております。今学期より別のコースに入学し、またお世話になります。これからもよろしくお願ひいたします。

◆横浜市 三條かおる：私の今後の目標は、2023年の国家試験で精神保健福祉士合格です！そのため今春から通信の福祉専門学校に入学しました。進撃あるのみです。

◆横浜市 愛甲淳子：全科履修生として入学71歳、そして「心理と教育」コース卒業77歳、若い世代の学生の中に加入しての学習は有意義なものでした。パソコンには苦勞しましたが、今大いに役立つことになっています。そして単位認定試験の緊張感がいつの間にかワクワク感に変わっていききました。

◆横浜市 堀 角男：70歳を過ぎて「人間と文化」コースに入学し、この春卒業しました。高校から就職も技術系でしたが、以前より人文系に引かれ入学した気がします。より深掘りできるよう頑張るつもりです。

◆横浜市 小川春子：今年から入会します。よろしくお願ひします。今思うと放送大学入学の動機は退職後したいことの一つ「苦手だった英語を再

度勉強する」でした。まず選科生で入学、次年度全科生に切り換え、10年かけて卒業しました。大変ではありましたが魅力ある学習ができました。これからものんびり楽しみながら続けるつもりです。

「ミニサロン」開催について

昨年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、神奈川同窓会の対面交流活動は一切ストップしてしまいましたので、同窓会では会員相互の交流の場として、これまでの「弘明寺サロン」に準じZoomによる「ミニサロン」として開設することとしました。

早速、「ミニサロン委員会」を組織して試行を重ね、昨年12月に第1回、本年2月に第2回、4月に第3回のミニサロンを開催してきました。そして目下、今後のテーマを検討しているところです。

ミニサロンに参加するには「波濤ネット」の会員になることが必須です。波濤ネット会員には「開催予告」、「参加者募集」のメールが送られますので、参加希望者は同窓会ホームページの会員限定の「申込フォーム」から申し込んでいただきます。開催に先立ち、参加予定者にZoomミーティングに参加するURL、ID、パスワードが送られてきます。

なお、Zoomが苦手な方は「申込フォーム」にその旨を記入して下されば対応いたします。また随時Zoom教室の開催も行う予定です。

またミニサロンに参加できなかった方のために、発表者に概要をまとめていただき、この会報に掲載することとしました。第4回以降は次号となります。

■第1回：写真で巡る老岐の旅

講師：永井藤樹氏

日時：2020年12月12日(土) 13:30～14:30

■第2回：レーガン大統領による保守革命とアメリカ政治の現状

講師：佐栞慎二氏(前神奈川同窓会会長)

日時：2021年2月13日(土) 13:30～15:00

■第3回：神奈川同窓会30年の歩み

講師：金田保男氏(神奈川同窓会会長)

日時：2021年4月3日(土) 13:30～15:00

(植地勢作)

第1回ミニサロン紙上发表

写真で巡る壱岐の旅

永井藤樹



私たちは5年前の2016年6月20日から25日、唐津・壱岐・対馬を旅行しました。今回は、その中で22日に訪れた壱岐について、お話しします。

壱岐には明治維新まで続いた地割制度や遣新羅使であった雪連宅満(キムラジヤカ)の墓、唐人神遺跡、縄文遺跡など写した写真は沢山あり、話す内容も豊富にありますが紙面の都合で河合曾良に絞ってお話します。

壱岐は玄界灘上に位置する離島。直径16kmのほぼ円形の島。最高峰の「岳の辻」が213m弱で、カレーライスの皿を伏せたような形の島。

壱岐の北部に勝本という名の港があります。ここに「河合曾良の墓」があります。曾良は芭蕉とともに「おくのほそ道」を歩いた人です。壱岐の地図を見ていたら「曾良の墓」と表示されていたので、驚いたことが興味を持ったきっかけです。なぜ、江戸を遠く離れた壱岐に「曾良の墓」があるのか、とても不思議に思いました。

幕府に巡見使という制度がありました。将軍の代替わりごとに、全国の幕府直轄領や藩に赴いて実情を調べる制度です。宝永6年(1709年)、5代将軍綱吉が死去し家宣が継ぎました。恒例により全国に巡見使を派遣して、西海道の巡見使団に曾良が加えられました。北九州と壱岐・対馬の巡見です。どういう伝手があって巡見使の一行に加えられたのか不明ですが、曾良はかつて武士であり、芭蕉と歩いていて地誌に明るい男です。そういう男を随員に加えるのは巡見使団にとっても都合がよいし、その上、曾良は大変な文章家でもありました。巡見使一行は九州北部を巡見しながら、博多港から壱岐の郷ノ浦港へ入ります。巡見使団の仕事は大変な強行軍で、食事は一汁一菜の粗食でした。幕府権力を背景とする中央の役人が地方の巡見に来たのですから、大変な饗応があったと想像しがちですが、そんなことはなかったようです。彼らは巡見後、報告書をまとめ翌日の準備をして、

早々に就寝しています。ところが曾良は若い時から身体を酷使してきたので、就いて行けなくなり勝本で病気になりました。宿舎としていた海産物問屋の中藤家に残って、そこで亡くなります。芭蕉に遅れること16年後、61歳の時です。

中藤家は熊本藩主・加藤清正の末裔。清正は二条城で秀頼と家康の謁見に際して秀頼のボディガードとして付き添い、疲労困憊して結核で亡くなります。二代目の忠広が徳川氏の怒りに触れたことで領地をことごとく没収され、一族が離散しました。忠広の子が加藤の姓を憚り、中藤と改めて諸国を流浪した末に、壱岐の勝本に定住して海産物を商うようになります。

曾良の墓を見るために椿のトンネルを潜り、ぬかるんだ道を歩いて石段を14、5段登った高台で、曾良の墓に出会いました。最期を看取った中藤家の墓地の中にありました。対馬海峡を背にして、勝本の港を見下ろす高台です。墓の大きさは高さ60cm×幅40cm×奥行き20cmほど。現在の勝本港の景色は曾良が見た当時とあまり変わっていないと聞くと、ひとしお感慨深いものがありました。



河合曾良の墓

勝本に「春に我 乞食やめても 筑紫かな 曾良」と、石に刻まれた句碑があります。曾良の300年忌(2010年)を記念して島の人たちの勤労奉仕によって立てられた句碑です。このことは今も曾良が壱岐の人たちに敬愛されている証といえます。曾良は僧侶のなりをして托鉢しながら米や銭をもらい歩くコツジキのような生活をしていたらしく、巡見使の一行に加えてもらったことで、そんなことをしなくてよくなったことに安堵しています。

私たちは曾良の墓を最後に壱岐の観光を終え、郷の浦港から次の目的地・対馬へ向かいました。

第2回ミニサロン紙上発表

レーガン大統領による保守革命と
アメリカ政治の現状

佐栞慎二



2021年1月にアメリカは民主党のバイデン大統領が就任し、政治上の大きな転換点を迎えました。アメリカは「小さな政府」を目指す保守・共和党と「大きな政府」を唱えるリベラル

・民主党の2大政党による対立と交替を繰り返しました。

しかし1980年までは、大恐慌を克服するためにニューディール政策を推進した民主党のルーズベルト大統領によるリベラル主義が優勢でした。ところが1970年代に入るとオイルショックやベトナム戦争、イラン大使館人質事件などアメリカの活力の低下が目立つようになってきました。

1980年に第40代大統領に就任したロナルド・レーガンはアメリカの建国の理念である「自立・自助」の精神に立ち返り、「小さな政府」を目指し、大胆な税制改革を実行しました。大統領に対する国民の信頼感を梃子に、最高個人所得税を70%から28%へ、最高法人税を46%から34%に大幅引き下げました。規制緩和などを加えた経済政策は「レーガノミックス」と呼ばれ、経済的にも国際的にも強いアメリカを復活させ、リベラルから保守優位の時代を築きました。

レーガン以降の大統領も党派に関わらず、減税政策を継続し、アメリカは政治面・経済面で「世界で一人勝ち」状態が続きました。またこうした減税政策を根幹とする新自由主義経済はアメリカのみならず全世界に拡大しました。(以上は私が放送大学で執筆した修士論文「アメリカ保守革命としてのレーガン税制改革」の趣旨です)

しかし好調な都市部のハイテク産業に対して、地方の製造業が衰退し、また高学歴の富裕層に対して低学歴の貧困層の対立が顕著になってきました。2016年の大統領選挙では、ドナルド・トラン

プはこうした不満層への働きかけに成功し、大方の予想を覆して選挙戦に勝利しました。トランプの登場は従来の保守・共和党、リベラル・民主党の対立を覆すものであり、競争社会での国民の分断の大きさを改めて突きつけるものでした。トランプは反移民や白人至上主義の熱烈な支持者に訴え、対外的にもアメリカファースト、反グローバル、反自由貿易を掲げ、世界との協調を無視し、自由主義国のリーダーとしてのアメリカの立場を放棄しました。しかし2020年に突如発生した新型コロナウイルスによるパンデミックに対して、場当たりの対策しか打ち出せず、世界最大の感染者と死者を発生させました。

2020年の大統領選挙は熱狂的なトランプ支持者と反トランプ支持者の醜い非難合戦となり、アメリカの分断がますます深まりました。民主党のバイデンはアメリカ国民の全てを代表する大統領となることと共に、アメリカが世界のリーダーとして復帰することを訴えました。まれにみる高投票率の中で大接戦の結果バイデンが勝利し、アメリカの民主主義のレジリアンス(強靱さ)を見せるものとなりました。

バイデン大統領は科学的で総合的なコロナ対策と、コロナ禍による経済的ダメージからの回復に取り組み、国際的にはWHOやパリ協定への復帰を進め、急速な経済発展を背景に覇権国家を目指す中国への対抗姿勢を強め、アメリカが再び世界のリーダーの立場になるための政策を進めています。

しかしながら国会議事堂を占拠したような熱狂的なトランプ支持者は生き残り、国内の分断状況は解消されていません。アメリカの国際社会復帰は日本や世界にとっては安心材料ですが、不安要素の多い中でアメリカの政治動向を注意深く見守ることが肝要です。



第3回ミニサロン紙上发表

放送大学神奈川同窓会 30 年のあゆみ

金田保男



1985年(昭和60年)放送大学は学生の受け入れを開始し、群馬・埼玉・千葉・東京第一(世田谷)・東京第二(文京)・神奈川の6センターがスタート、その4年後に第1期卒業生を輩出しました。同時に同窓会を設立し、2020年10月をもって神奈川同窓会は創立30周年を迎えることができたことは大きな喜びです。30年間の時代の節目において、その“あゆみ”を振り返ってみたいと思います。そこには諸先輩が築いてくれた歴史、連綿として継続してきた「社会貢献活動」等同窓会の理念を顕現した足跡が見えてきます。その一貫した「理念」の本質とは一体何だったのでしょうか!皆様と共に考えてみたいと思います。

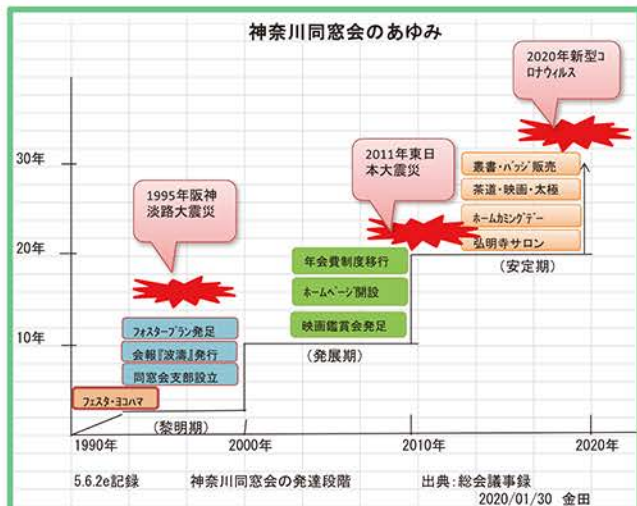
1・神奈川同窓会30年のあゆみ

神奈川学習センターは、現在の校舎の東側半分のみ建設し、学生の受け入れに間に合わせました。時代背景を一覧し、当時の活動状況を振り返ります。



センター建設時(1985年) 神奈川学習センター提供

下図の「神奈川同窓会の発達段階」を参照願います。設立から10年毎に、黎明期・発展期・安定期の主な活動をプロットしてみました。



「ミニサロン」での発表ではパワーポイントで写真を見ながら足跡を辿りましたが、「創立30周年記念誌『波濤』第60号」に各種資料を掲載していますので、参照して頂きたいと思っております。

2・神奈川同窓会の変わらない理念

ここからは神奈川同窓会30年の歩みの本質について、皆様とともに考えてみたいと思います。30年間変わるものと変わらないものがありますが、理念は変わらず守って参りました。

神奈川同窓会の理念

- ① 誇り(Pride)を絆に結ぶ同窓会
- ② 母校意識(Strings)で結ぶ同窓会
- ③ 社会貢献(Social contribution)で結ぶ同窓会

また同窓会と「社会貢献」はどのような結びつきがあるのでしょうか?『波濤』第3号から「フォスター・プランを選んだ理由」を紹介します。

旧名称のフォスター・プラン〔(現在の名称: プラン・インターナショナル・ジャパン) 略称「プラン」として]は、主に発展途上国の子供たちへの生活環境、教育に対する支援であり、私たちの願いである世界平和、環境保全、南北国格差是正等を実現するための根本的な要素としての人々の貧困を解消することを求めている。特に同窓会活動として重要である点は、これらの願いを実現するためには、これから将来の世界を担う子供たちの教育援助を行うことが遠回りのようであるが、最も確実かつ本質的なことであるとの認識を持ったことである。

この考え方は、生涯教育の提唱者 OECD のポール・ラングラン (Lengrand, P.) の考え方と同様です。

放送大学に集う私達もこれから進む未知の世界について学び続けます。そしてこれからの将来を背負う子供たちに識字教育をはじめ教育環境を支援する必要があると考えています。同窓会の「理念」の本質は、「生涯学習」「生涯教育」の希求と考えます。それは同時に放送大学における教養教育の「理念」に一致しています。

社会貢献活動(プラン)

《事務局だより》 (金田保男)

神奈川同窓会では2020年度に、6人の支援しているチャイルドに計360,000円、途上国全般の新型コロナウイルス感染症対策として50,000円をPlan International Japan(プラン)を通じて寄付いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2014年より同窓会が支援してきましたパラグアイのAide(女子)は、めでたく18歳となりチャイルドとしての登録を終了することとなりました。地域へのプランの支援はまだ続きますが、Aideの幸せな未来を祈りたいと思います。

それに伴い、エクアドルのOswaldo(9歳男子)に対する支援を開始することいたしました。

Oswaldoは初等教育を受けており健康に過ごしています。私たちもOswaldoと共に学んでいきたいと思えます。(田代和嘉)



2021年2月(『波濤』60号創立30周年記念誌掲載)以降の新入会者は下記の通り31名の方です。心より歓迎申し上げます。(敬称略)

石田和雄	滝口陽子	角田良子	信岡ありさ
坂田俊幸	井上京子	綿貫弘子	塩野美保子
愛甲淳子	内田悦子	毛利勝夫	佐藤真美子
根本房光	岡田雅雄	山田明美	三條かおる
鈴木一也	小川春子	多田真人	野口由起子
橋本健一	柏木俊雄	長尾影子	星野美智子
中川倫子	大山剛史	井上拡美	保坂恭子
堀 角男	齋藤信子	加藤耕大	

「名誉学生」のお知らせ

平成2年度神奈川学習センター所属の9名の方が新たに「放送大学名誉学生」の称号を賜りました。おめでとうございます。

社会貢献活動(あしなが育英会)

神奈川同窓会では放送大学叢書の販売収益金を全額「あしなが育英会」に寄付しています。

しかし2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、神奈川学習センターでの叢書販売は全くできず現在も続いています。

そのため2020年度は、神奈川同窓会からの特別助成金、寄付金、自粛期間前に売上げがあった売上金と合わせ¥21,764円を寄付致しました。

あしなが育英会よりお礼状が届いています。

(村田カズ子)

お礼状

放送大学神奈川同窓会 様

このたびは、本会の事業にご賛同いただき温かいご寄付を賜り誠にありがとうございます。本会は病気や災害、自死(自殺)で保護者をなくし、または保護者が障がいで働けず教育費に困っている高校生や大学・専門学校生に対し奨学金の給付・貸与等で進学を支援するとともに、小中学生以上の進路にはるのケアを行い、将来、広く人類社会に貢献する人材の育成に取り組んでいます。

進路家庭の生活は、消費増税の影響でさらに厳しくなっており、奨学金等による教育支援は依然として必要です。進路家庭が負担から解放されるためには子どもたちが教育を受け、自立することです。若者の就職難が続く中、進路家庭の多くは大学等の高等教育への進学を希望してあります。

本会は「教育こそが進路の未来を切り開く」を理念として、一人でも多くの進路が希望する高等教育への進学を計ることのできるよう奨学金の充実を図ります。また、進路が社会に力強く歩み出しているよう、進路同士や海外の若者との交流事業や、小中学生進路・東日本大震災被災者対象としたのケア活動にも一層力を注ぎます。海外進路支援においても、サブサハラ・アフリカの進路たちが高等教育を受け、自国の発展を牽引するリーダーとなるよう活動を発展させてまいります。

みなさまのご寄付は奨学金やケア活動として進路の夢や希望になり、世代を超えて進路たちを支え続けます。今後とも一人でも多くの進路が夢に向かって人生を歩むことができよう、ご支援をお願い申し上げます。

2021年03月26日

一般財団法人あしなが育英会
会長 五井義臣

訃報

新井健治様 大杉昭司様 保坂運規様
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

『波濤』第60号(創立30周年記念誌) 記載事項訂正について

- 1・氏名訂正: 13 ページ
(正) 大木陸夫 (誤) 大木陸男
- 2・役職名訂正: 47 ページ 坂井素思先生
2006年5月14日の表記で教授は助教授、そして2008年6月7日の表記で助教授は准教授が正しく、お詫びし訂正させていただきます。

編集後記

コロナ禍で対面交流ができないため、Zoomによる発表交流の場「ミニサロン」が2020年12月よりスタートしました。参加できなかった方にも伝わるよう、発表者によるその概要をまとめていただきこの会報に掲載致しました。(佐藤 敬)